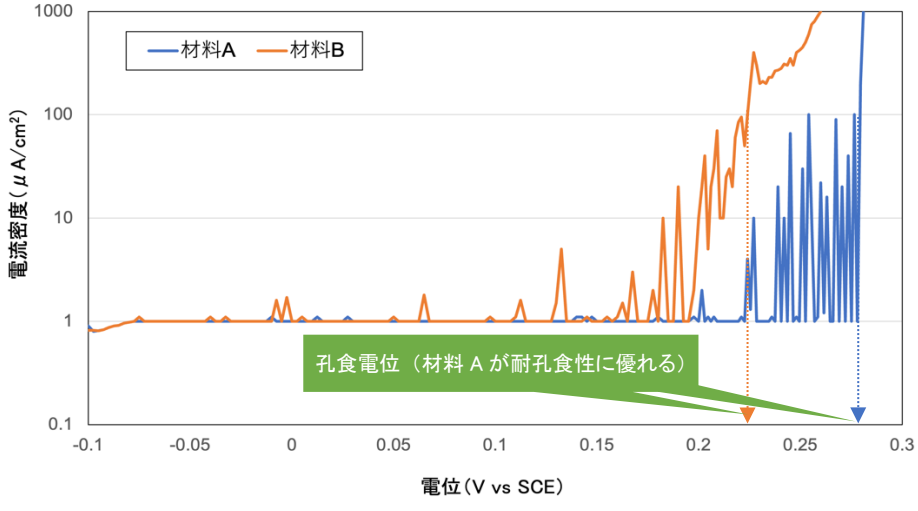



ステンレス鋼の耐食性評価

事例	<p>ステンレス鋼の耐食性を比較するため孔食電位を測定しました。</p>
試験内容 と結果	<p>ステンレス鋼など表面の不動態皮膜によって腐食が進みにくい（錆びにくい）材料では、使用される環境によって表面の一部が腐食（溶解）することがあります。その中でも、局所的に腐食が進行して材料に“穴があく”現象は「孔食」と呼ばれ、そのまま放置していると重大な損害を及ぼすことになりかねません。</p> <p>そこで、材料の孔食の起きやすさを比較するため、電気化学測定システムを用いて測定を行いました。測定は専用の電解槽内で行われ、試験片に一定速度で電位を加えていくと腐食の発生に応じて、微弱な電流が発生します。それを連続的に観測して得られた波形から孔食電位を求めることにより、孔食のし易さ（耐食性の良し悪し）を判断することができました。</p>  <p>孔食電位測定の一例</p>
使用装置	<p>電気化学測定システム（令和5年度導入）</p>  <p>メーカー名： 明電北斗(株) 型式： HZ-7000 実験用電解槽</p> <p>【機器の概要】 電気化学的特性値を計測し、腐食特性を評価するシステムです。JISに準拠したステンレス鋼の腐食特性の測定に使用できます。</p>
手数料 使用料	<p>手数料 電気化学測定 4,600円/時間 使用料 電気化学測定システム 1,300円/時間</p>

※その他、試料によっては研磨加工や樹脂埋込等、試料調整費が必要な場合があります。